2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上 場 会 社 名　日本特殊塗料株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　4619　　URL　https://www.nttoryo.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役 社長執行役員　（氏名）遠田 比呂志
問合せ先責任者　（役職名）執行役員 経営企画部長　（氏名）中嶋 剛　（TEL）03-3913-6136

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年11月30日
決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：有　（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	32,149	6.1	2,164	32.0	4,349	53.9	3,276	26.2
2026年３月期中間期	30,300	△7.0	1,640	△14.4	2,825	△5.2	2,595	22.8

（注）包括利益　2027年３月期中間期　4,763百万円（267.8%）　2026年３月期中間期　1,295百万円（△62.8%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	153.85	―
2026年３月期中間期	119.32	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	88,594	69,685	71.0
2026年３月期	85,375	67,023	70.5

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　62,925百万円　　2026年３月期　60,232百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	50.00	―	75.00	125.00
2027年３月期	―	55.00			
2027年３月期(予想)			―	75.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,400	7.3	4,050	1.1	7,350	7.5	5,300	1.1	248.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）―　　、除外　　―社（社名）―

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	23,611,200株	2026年３月期	23,611,200株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,313,684株	2026年３月期	2,319,049株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	21,293,454株	2026年３月期中間期	21,752,590株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１.経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報等） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におきましては、国内では中東情勢の影響を受けた春先以降のエネルギー価格上昇が景気の下押し要因となったものの、グローバルなAI関連需要の堅調な拡大などを背景に、景気は伸び率こそ縮小しつつも、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画２年目として、生産性向上および収益力強化に向けた施策を推進いたしました。また、原材料調達の最適化や価格適正化、事業運営の効率化など事業構造の見直しを通じて収益基盤の強化に取り組みました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は、主に自動車製品関連事業の増収により321億４千９百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加に加え、収益面の改善を進めた結果、営業利益は21億６千４百万円（前年同期比32.0%増）、経常利益は43億４千９百万円（前年同期比53.9%増）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、固定資産処分損の計上等があったものの、32億７千６百万円（前年同期比26.2%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

［ 塗料関連事業 ］

建築・構築物用塗料の販売は、中東情勢に伴う事業環境の変化が見られたものの、供給の安定化や適正価格の維持を背景に前年同期比増加となった一方、集合住宅大規模改修工事等の工事関連売上が前年同期比減少となったことから、当セグメントの売上高は101億１百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益は６億７百万円（前年同期比76.2%増）となりました。

［ 自動車製品関連事業 ］

アジア地域では自動車生産台数減少の影響を受けたものの、好調な北米市場を背景とした国内自動車メーカーの販売増加に伴い、主力製品である吸・遮音材等の販売が増加したことから、当セグメントの売上高は220億４千万円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益は15億５千３百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

［ その他 ］

保険代理業の売上高は７百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ32億１千８百万円増加し、885億９千４百万円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加４億９千６百万円、有形固定資産の増加２億３千万円、投資有価証券の増加27億１千万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ５億５千６百万円増加し、189億８百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加２億９千万円、繰延税金負債の増加４億８千１百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ26億６千１百万円増加し、696億８千５百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加16億５千７百万円、為替換算調整勘定の増加６億３千万円、非支配株主持分の減少３千２百万円によるものです。この結果、自己資本比率は0.5%増加し71.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ７億８千８百万円減少し、117億９千７百万円となりました。

営業活動による資金は、27億４千７百万円の収入（前年同期は20億５千２百万円の収入）となりました。この主な要因は、税金等調整前中間純利益41億５百万円、売上債権の増加額11億７千４百万円、仕入債務の増加額３億７千万円、利息及び配当金の受取額８億４千９百万円、法人税等の支払額９億２千万円によるものです。

投資活動による資金は、14億６千２百万円の支出（前年同期は20億１千６百万円の支出）となりました。この主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出15億９百万円によるものです。

財務活動による資金は、23億５千７百万円の支出（前年同期は24億２千万円の支出）となりました。この主な要因は、配当金の支払額16億１百万円、非支配株主への配当金の支払額５億５千８百万円によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期の連結業績予想につきましては、2026年５月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
2027年３月期通期	66,400	4,050	7,350	5,300	248.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

なお、2026年５月14日に公表いたしました2027年３月期通期のセグメント別業績予想につきましては、以下の通り変更いたします。

（単位：百万円）

前回発表予想（A）	売上高	セグメント利益
塗料関連事業	20,400	350
自動車製品関連事業	46,000	3,700

今回修正予想（B）	売上高	セグメント利益
塗料関連事業	20,600	850
自動車製品関連事業	45,800	3,200

増減額（B－A）	売上高	セグメント利益
塗料関連事業	200	500
自動車製品関連事業	△200	△500

変更の理由：
塗料関連事業では、当中間期における原材料調達の最適化や販売価格見直しの効果を背景に、通期業績は当初計画を上回る見通しです。一方、自動車製品関連事業では、中国・アジア地域での販売減少の影響を受け、通期業績は当初想定を下回る見込みです。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,816	14,880
受取手形、売掛金及び契約資産	11,548	12,045
電子記録債権	3,676	4,400
商品及び製品	1,880	2,199
仕掛品	1,757	1,238
原材料及び貯蔵品	1,570	1,870
未収還付法人税等	118	－
その他	1,044	748
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	37,410	37,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,269	9,296
機械装置及び運搬具（純額）	5,288	4,821
土地	4,984	4,984
建設仮勘定	924	1,536
その他（純額）	916	974
有形固定資産合計	21,383	21,613
無形固定資産		
その他	1,215	1,273
無形固定資産合計	1,215	1,273
投資その他の資産		
投資有価証券	23,309	26,020
長期貸付金	96	89
繰延税金資産	155	163
その他	1,875	2,126
貸倒引当金	△70	△74
投資その他の資産合計	25,365	28,325
固定資産合計	47,964	51,213
資産合計	85,375	88,594

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,866	6,156
電子記録債務	1,209	1,314
短期借入金	2,353	2,245
リース債務	15	21
未払法人税等	874	459
役員賞与引当金	71	－
その他	3,508	3,758
流動負債合計	13,898	13,956
固定負債		
長期借入金	451	369
株式給付引当金	－	31
リース債務	32	49
退職給付に係る負債	1,905	1,943
繰延税金負債	1,948	2,429
その他	115	128
固定負債合計	4,453	4,951
負債合計	18,352	18,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	4,510	4,520
利益剰余金	41,557	43,215
自己株式	△2,398	△2,395
株主資本合計	48,422	50,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,863	6,326
為替換算調整勘定	5,031	5,661
退職給付に係る調整累計額	915	844
その他の包括利益累計額合計	11,809	12,833
非支配株主持分	6,791	6,759
純資産合計	67,023	69,685
負債純資産合計	85,375	88,594

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	30,300	32,149
売上原価	23,490	24,433
売上総利益	6,809	7,715
販売費及び一般管理費	5,169	5,550
営業利益	1,640	2,164
営業外収益		
受取配当金	196	196
持分法による投資利益	1,026	1,929
為替差益	3	－
その他	161	127
営業外収益合計	1,387	2,253
営業外費用		
支払利息	21	24
為替差損	－	12
支払手数料	152	－
その他	27	31
営業外費用合計	202	68
経常利益	2,825	4,349
特別利益		
固定資産売却益	509	0
受取保険金	0	－
投資有価証券売却益	237	－
特別利益合計	747	0
特別損失		
固定資産処分損	16	245
投資有価証券評価損	32	－
和解金	2	－
特別損失合計	51	245
税金等調整前中間純利益	3,521	4,105
法人税等	720	598
中間純利益	2,800	3,507
非支配株主に帰属する中間純利益	204	231
親会社株主に帰属する中間純利益	2,595	3,276

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	2,800	3,507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	367	461
為替換算調整勘定	△782	502
退職給付に係る調整額	△26	△70
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,064	363
その他の包括利益合計	△1,505	1,256
中間包括利益	1,295	4,763
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,475	4,299
非支配株主に係る中間包括利益	△180	464

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,521	4,105
減価償却費	1,377	1,377
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3	3
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△71	△49
受取利息及び受取配当金	△255	△240
支払利息	21	24
持分法による投資損益（△は益）	△1,026	△1,929
固定資産売却損益（△は益）	△509	0
固定資産処分損益（△は益）	16	243
投資有価証券売却損益（△は益）	△237	－
投資有価証券評価損益（△は益）	32	－
受取保険金	△0	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,029	△1,174
棚卸資産の増減額（△は増加）	△296	△85
仕入債務の増減額（△は減少）	△930	370
その他	△605	79
小計	2,070	2,724
利息及び配当金の受取額	851	849
利息の支払額	△20	△25
保険金の受取額	0	－
法人税等の支払額	△849	△920
法人税等の還付額	0	118
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,052	2,747
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,420	△853
有形及び無形固定資産の取得による支出	△662	△1,509
有形及び無形固定資産の売却による収入	830	1
定期預金の払戻による収入	－	1,000
投資有価証券の取得による支出	△5	－
投資有価証券の売却による収入	254	－
貸付けによる支出	△10	－
貸付金の回収による収入	21	7
その他	△25	△109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,016	△1,462
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△150	－
長期借入金の返済による支出	△306	△189
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	－	0
配当金の支払額	△1,482	△1,601
非支配株主への配当金の支払額	△479	△558
その他	△1	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,420	△2,357
現金及び現金同等物に係る換算差額	△291	283
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,676	△788
現金及び現金同等物の期首残高	16,024	12,586
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,348	11,797

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等）

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)1	合計	調整額(注)2	中間連結損益計算書計上額(注)3
	塗料関連	自動車製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,050	20,243	30,293	7	30,300	－	30,300
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	1	－	1	△1	－
計	10,051	20,243	30,295	7	30,302	△1	30,300
セグメント利益	344	1,291	1,636	4	1,640	－	1,640

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。
２　調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
３　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)1	合計	調整額(注)2	中間連結損益計算書計上額(注)3
	塗料関連	自動車製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,101	22,040	32,141	7	32,149	－	32,149
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	1	－	1	△1	－
計	10,103	22,040	32,143	7	32,150	△1	32,149
セグメント利益	607	1,553	2,161	3	2,164	－	2,164

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。
２　調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
３　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。